



令和7年度 学校だより

城南っ子

〔学校教育目標〕

自律的に学び、認め合い、
ともに成長しようとする児童の育成

○自律的に学ぶ子 ○仲間を大切にする子 ○心身ともに健やかな子



那覇市立城南小学校

令和7年11月21日

第32号

文責：校長 田島正敏

いつもありがとうございます。ありがとう集会



「おはよう」「いってらっしゃい」「Have a nice day!」と声をかけてくださり、子どもたちが、安全・安心に登校できるよう見守ってくださっています。学校・子どもたちへの「愛」と「行動」に心より感謝しています。

学校・子どもたちを支援して下さる方は、児童代表の挨拶にもありましたが、クラブ活動や水泳学習、そのほかにも朝の読み聞かせや旗頭・ちびっこ相撲練習、夏休みのラジオ体操なども城南っ子のために多くの方が「時間」と「心」を使ってくださっています。当たり前のように安全に登校できること、楽しく学習ができること、面白い本に出会えること。学校と城南っ子の活動を支援していただいている地域の方々のおかげです。その「ありがとう」の気持ちを、歌や言葉、そしてネギのプレゼント（ネギらい）で伝えていました。挨拶をいただいた「コバちゃん」こと小橋川様、三線への熱い思いと、演奏をいただきました比嘉様、そしてご参加いただいた皆様、ありがとうございました。

20日(木)の1校時に「ありがとう集会」を行いました。3日後の「勤労感謝の日」にちなみ、日頃から私たちの学校を支えてくださっている皆様をお招きして、感謝の気持ちを伝える会です。

お招きした方は、毎朝の登校時の立哨指導や、授業での学習支援、クラブ、様々な場面で子どもたちを支援してくださっている方々です。特に、毎日の立哨指導をしていただいている方には、暑い夏の日も、冷たい雨が降る日も、変わらぬ笑顔で

ちびっこ相撲大会へ向けて



力のこもった練習です。

22日(土)に城北中学校で首里地区ちびっこ相撲大会が行われます。PTAで選手を募ったところ12名が名乗りを上げてくれました。

先週から地域連携室を使って小橋川さんや若手の先生方が練習を見てくださり頑張っています。土曜日はいいよ大会当日です。練習の成果が発揮できるよう、選手の皆様頑張ってください。



校内研究授業研究会 4年生

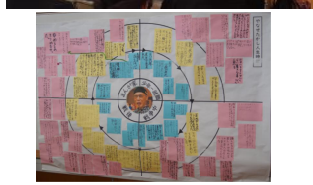


17日(月)に琉球大学の村上呂里先生を指導助言者にお招きして校内研究授業研究会を行いました。今回は4年生の国語「ごんぎつね」が教材です。「ごんぎつね」といえば新美南吉の代表作ですね。子供たちは「ごん」の兵十に対する気持ちの変化を叙述に即して読み取っていきましました。授業の中で子供たちに「言いたい」という気持ちにさ

せる問い返しや対話をつなげる工夫が随所に見られました。先生方も授業改善を頑張っています。

余談ですが、このお話は南吉が代用教員をしていた18歳のころに書いたそうです。最後の場面、兵十が「ごん、おまえだったのか、いつも、くりをくれたのは」と語り、ごんはうなずきます。最初原稿では「ごんは、うれしくなりました」と書かれています。火縄銃でうたれたのに、です。南吉はこのお話で何を伝えたかったのでしょうか。皆さんも考えてみてください。

小学校(国語)授業力アップ研究会



19日(水)の5校時に授業研究会が行われました。本校が那覇地区の授業力アップ研究会の会場となり、伊藤先生が5年生の国語「やなせたかしーアンパンマンの勇気」の授業を行いました。当日は、国立教育政策研究所の平山道大学力調査官が授業のリフレクションと講話がありました。那覇・浦添から50名を超える先生方が訪れていました。本時の授業では、やなせたかしさんの伝記を読んで、アンパンマンがどのようにして誕生したのかを叙述に即して探っていく学習でした。アンパンマンは他のヒーロー(正義の味方)とは一線を画す存在であることを押さえて、「なぜアンパンなのか」「顔を食べさせると力が出なくなるのに、なぜ食べさせるのか」など子どもたちが対話を通して学んでいく姿が見られました。

講話では、小学校国語科における「指導と評価の一体化」の実現を目指した授業づくりー子供の学びの姿に基づいた学習改善と指導改善を通してーと題し全国学テの分析から見える授業改善の取り組み等の話を伺いました。実りある研究会でした。